

学校だより

桜水だより

須賀川市立第一小学校

27年度 第 26号

No.159

平成27年10月15日

☎75-2851

県PTA研究大会二本松大会 その2

記念講演

記念講演は、セブン銀行代表取締役会長 安斎 隆様でした。安斎様は、二本松市出身だそうです。記念講演の主な内容をお知らせします。

自分自身の生き立ちを思い返すとき、人との宿命的な出会いが大きかった。大人として、子どもたちを見るとき、定規で「何cmのびたか」と見てはいけない。子どもは、分度器で「どれほど広がったか」と見てほしい。それが、成長の過程を認めてあげることになる。親の期待する方向で何cm伸びたかとしてはいけないのである。

一人一人に平等に与えられているのは「時間」だけである。身長も体重も異なるではないか。時間をいかに有効に使うかが、大切なのである。愚直に、誠実に、時間を大切に積み上げていくことが何より大切なのである。ノーベル賞を受けられた2人は、愚直に、誠実に、時間を積み上げてこられたのである。

文書を作るとき、大切な視点は「思い」である。文書を作る前に、自分なりの思いがなくてはならない。その自分なりの思いは、電車での移動の時やふとした時にめぐらせるのである。自分なりの思いがなければ、良い文書にならない。その思いには、愚直さ、誠実さがなければならぬ。結果、それが誠実な企業へとになっていく。

トップがコンプライアンスを破ることがあれば、勇気を持ってやめさせなければならない。フォルクスワーゲン社はコンプライアンスを見失ったのである。

第一分科会



本校PTAが参加した分科会は、第一分科会でした。

熊本県水俣市から講師をお招きし、「地域との連携」などを学び合いました。水俣市は、震災後全国に先駆けて本県の支援に取り組んでくださいました。その縁で、現在も中学生の交流活動が続けられています。須賀川市の中学生も交流活動に参加してきました。

サラダ玉葱事件

以前、テレビの人気番組に「どっちの料理ショー」がありました。

その番組では、食材の優れている点も紹介されていました。ある日の放映で「熊本県袋神川」産の玉葱が取り上げられたそうです。市町村名を出さず、字名のみで産地表現でした。「水俣市」と表現すると評価がさがってしまうと番組が判断したのではないかと水俣市から多く抗議が寄せられたとのこと。50年も前の水俣病が現在も「風評被害」として残っているとのこと。現在の水俣市は、20種類を超えるゴミの分別を行い有機栽培も盛んな環境都市になっているそうです。次号に主な内容を記載します。